

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和2（2020）年度

施設名	とちぎ男女共同参画センター南館
施設所管課	県民生活部人権・青少年男女参画課
指定管理者	公益財団法人とちぎ男女共同参画財団（法人番号 5060005007625）
指定期間	平成31（2019）年4月1日～令和6（2024）年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	宇都宮市野沢町4-1
施設の概要	① 敷地面積：30,232㎡ 建物面積：6,800㎡ ② 構造：鉄筋コンクリート3階建（一部地下1階） ③ 研修室等：ホール、研修室8室、会議室、OA研修室、和室、ライフアトリエ、パフォーマンススタジオ、調理実習室、テニスコート ④ 駐車場：収容台数230台（第1～3駐車場）
業務内容	① とちぎ男女共同参画センター南館の施設の維持管理に関する業務 ② とちぎ男女共同参画センター南館の利用に係る事務（有料施設等の利用の許可に関するものを含む。）に関する業務 ③ とちぎ男女共同参画センター南館の運営に関する業務

2 収支の状況

令和2（2020）年度

（千円）

収入			支出		
指定管理 ※2	指定管理料	124,700	指定管理 ※2	事業費	0
	利用料金収入	11,859		管理運営費	88,792
	その他収入※1	936		人件費	36,191
				その他支出※1	6,186
	合計	137,495		合計	131,169
指定管理業務収支差額①			6,326		
自主事業			30		
自主事業収支差額②			▲2,462		
収支差額（①+②）			3,864		
備考（※1 その他収入の主なものを記載）			備考（※1 その他支出の主なものを記載）		
コピー機利用料金等 60			退職給与引当金支出 808		
受取利息 0			租税公課費 5,378		
自販機設置委託料収入 876					

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和元（2019）年度（前年度）

（千円）

収入			支出		
指定管理 ※2	指定管理料	123,500	指定管理 ※2	事業費	0
	利用料金収入	19,291		管理運営費	93,073
	その他収入※1	1,003		人件費	34,054
				その他支出※1	8,215
	合計	143,794		合計	135,342
指定管理業務収支差額①			8,452		
自主事業			236		
自主事業収支差額②			▲2,821		
収支差額（①+②）			5,631		

備考（※1 その他収入の主なものを記載）	備考（※1 その他支出の主なものを記載）
コピー機利用料金等 69	退職給与引当金支出 2,038
受取利息 0	租税公課費 6,177
自販機設置委託料収入 934	

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

施設名	項目	令和元（2019）年度 （前年度）	令和2（2020）年度
ホール	利用日数	170日	100日
	利用率	57.8%	33.9%
	利用者数	27,895人	7,112人
研修室 101	利用日数	128日	75日
	利用率	43.5%	25.4%
	利用者数	712人	553人
研修室 201	利用日数	111日	8日
	利用率	37.8%	2.7%
	利用者数	3,169人	101人
研修室 202	利用日数	126日	93日
	利用率	42.9%	31.5%
	利用者数	1,391人	503人
研修室 203	利用日数	112日	115日
	利用率	38.1%	39.0%
	利用者数	1,217人	1,017人
研修室 301	利用日数	196日	143日
	利用率	66.7%	48.5%
	利用者数	10,511人	4,948人
研修室 302	利用日数	172日	122日
	利用率	58.5%	41.4%
	利用者数	8,346人	3,988人
研修室 303	利用日数	85日	42日
	利用率	28.9%	14.2%
	利用者数	438人	286人
研修室 304	利用日数	109日	84日
	利用率	37.1%	28.5%
	利用者数	2,499人	1,255人
会議室	利用日数	50日	15日
	利用率	17.0%	5.1%
	利用者数	748人	195人
OA 研修室	利用日数	19日	15日
	利用率	6.5%	5.1%
	利用者数	273人	147人
和室	利用日数	77日	68日
	利用率	26.2%	23.1%
	利用者数	541人	514人
ライフアトリエ	利用日数	12日	9日
	利用率	4.1%	3.1%
	利用者数	34人	31人

パフォーマンススタジオ	利用日数	240日	204日
	利用率	81.6%	69.2%
	利用者数	3,327人	2,762人
調理実習室	利用日数	37日	11日
	利用率	12.6%	3.7%
	利用者数	648人	160人
テニスコート	利用日数	125日	107日
	利用率	42.5%	36.3%
	利用者数	524人	404人

4 サービス向上に向けた取組

<ul style="list-style-type: none"> ・ 開館日の増設（月曜日が祝日の場合でも、翌日振替休日による休館とせず開館している。） ・ ホームページに利用施設の最新予約状況やタイムリーな情報を随時掲示している。 ・ パルティ交流サロン利用団体との情報交換会や年間を通じて利用者アンケートを実施することにより、ニーズを把握しながら利用者の満足度の向上に努めている。 ・ 情報ライブラリーでは毎月新刊案内を掲示している。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者意見箱の設置 ・ パルティ交流サロン利用団体との情報交換会を年2回行い、意見を傾聴している。 ・ 利用者アンケートの実施 〔調査期間：年間を通じて実施〕 〔調査方法：貸館利用の際に協力を依頼〕 〔調査対象数：688枚配布、449枚回答あり（回答率65.3%）〕 					
[アンケート内容]					
Q1 当センターを利用したことがあるか。（計449件）					
① 初めて 42件 ②ある 407件					
Q2 初めての方へ。当センターを何で知ったか。（複数回答あり）（計75件）					
① HP 24件 ②リーフレット 1件 ③県市町等の紹介 5件 ④新聞 0件 ⑤知人・友人 13件 ⑥その他 29件 ⑦無記入 3件					
Q3 再利用の方へ。どの程度利用するか。（計407件）					
① 週1回 44件 ②月2回 64件 ③月1回 100件 ④年2回 92件 ⑤年1回 45件 ⑥その他 46件 ⑦無記入 16件					
Q4 申し込みから利用当日までの手続きの対応について。					
	事務手続きの対応等	館内の照明等の環境	施設設備	館内外の清掃	満足度
5（良い）	354件	355件	359件	368件	357件
4	68件	78件	72件	66件	78件
3	24件	11件	15件	13件	13件
2	3件	4件	3件	2件	1件
1（改善を求む）	0件	1件	0件	0件	0件
無記入	0件	0件	0件	0件	0件
計	449件	449件	449件	449件	449件

主な利用者意見（苦情・要望）	対 応
① 廊下が暑かった。	① 研修室を利用して実施された高卒認定試験において、各階の廊下に受付・待機者が配置されていたことが原因。今後とも利用の際の状況をよく聞き取りながら、事前の冷房時間を長くする等、利用方法に即した対応に努める。
② ホールの中にお菓子のごみが落ちていた。	② 直ちに撤去し、清掃業者を含め確認の徹底をした。
③ 和室の畳に黒い粒状の汚れがあった。	③ 利用後直ちに清掃を行った。今後は、利用前点検をさらに強化し、気持ちよく利用して頂けるよう心掛けていく。
④ 会場予約をオンラインでできるとなお良い。	④ 現在電話で受付を行っており、システムでの対応はできていない旨説明し、理解をして頂いた。
主な利用者意見（積極的評価）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ とてもきれいで使いやすかった。 ・ 受付の方が丁寧に対応してくださり、研修室もきれいで快適に使えた。 ・ プロジェクターを借りて、使用方法を親切に教えてもらった。 ・ いつも気持ちよく利用することができた。 	

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の維持管理や使用料金の徴収等の事務を適切に行った。 ・ 男女共同参画の推進団体やグループ等の利用促進を図った。 ・ センター事業（講座等）とのバランスある利用に努め、公平公正な利用を図った。 ・ 情報ライブラリーの貸出用の資料や閲覧DVDを充実させるとともに、ホームページや情報誌パーティを活用した積極的な情報提供を行った。 ・ ゴーヤによるグリーンカーテンを実施するなど、省エネや利用者の健康面に配慮した維持管理に心掛けるとともに、倒壊の恐れのある枯損木を伐採するなど、日常の安全確保に努めた。 ・ OA研修室のパソコン21台を更新するとともに、中間モニタシステム及びWindows10の管理サーバを導入することにより、快適で安定した講習が実施できるよう環境の整備を行った。
安全で快適な施設利用に向けた取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設設備の老朽化が進行し、修繕箇所が増加しているが、空調、トイレや照明等各種設備の故障に対して迅速に修繕を実施し、県民が安全で快適に施設を利用できるよう取り組んでいる。
今後改善・工夫したい事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者からの苦情・意見や設備の修繕に対して、今後とも、施設内に常駐する設備管理委託業者との情報交換や連携を密にし、迅速で適切な対応に努めるなど、施設管理の円滑な運営を推進する。

7 所管課による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	施設の予約について月1回抽選会を開くなど、利用者に対し公平な方法をとっている。	C
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	条例、規則に基づき、適正に審査し、許可事務を行っている。	C
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。	身障者用駐車場や視覚障害者用チャイムを有し、館内には車椅子や点字ブロック、多目的トイレ、オストメイト等を備えている。	B
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	設置目的に沿った利用の場合には、優先的に予約を受け付けている。利用者アンケートの結果によると、約9割がリピーターであり、かつ7割以上の者が年2回以上利用するなど、男女共同参画推進をはじめとする県民活動の支援に成果を発揮している。	B
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	ホームページや情報誌等による情報提供を積極的に行うとともに、利用者からの要望等への適切な対応に努めた。また、託児室の開設をとおして、子育て中の女性の研修会等への参加促進を支援した。	B
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	利用者アンケートを実施し、利用者の意見等を踏まえ、施設運営や業務改善に反映するよう努めた。	B
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	施設的环境や設備の老朽化に関する苦情があるが、細やかな清掃の実施や、器具の交換等を迅速に行い、適切に対応した。	B
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	設備等の修繕箇所に対して、迅速で適切な対応に努めた。	B
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	新規以外の利用者との打合せは、来館を求めず電話で行うなど簡略化に努めた。	B
3. 管理を安定的に行う物的人的基礎	①組織体制は適正か	職員は、様々な職種（県派遣・県OB、プロパー、嘱託員）から構成されており、勤務形態等が異なる中で、事務の効率化やサービスの向上に努めるなど、適切な管理運営を行っている。	C
	②収支は適正でバランスがとれたものか	収支は概ね適正でバランスがとれている。	C
	③経費の縮減に取り組んできているか	不要な照明の消灯や冷暖房の適切な温度管理に加えて、グリーンカーテンを取り入れるなど光熱水費の縮減に取り組んでいる。	C
	④人材育成は適切に実施されているか	男女共同参画に関する研修に随時職員を参加させるとともに、貸館マニ	C

		マニュアルや情報ライブラリー運営マニュアル等に基づき、職員間の情報共有を強化している。	
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	危機管理マニュアルを作成し、事故や緊急時に対応できるようにしている。また、避難訓練を年2回実施している。	C
	⑥県や関係機関との連携ができていますか	人権・青少年男女参画課やとちぎ男女共同参画センター等と連携を密にして施設運営を行っている。	B
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか	個人情報保護対策指針や事務処理要領により、適正に取り扱っている。	C
	②情報公開は適切になされているか	定款や事業計画書等開示対象書類を事務室内に備え置いているが、情報公開請求事例はなかった。	C
5. その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか	利用者アンケートの結果を毎月集計し、利用者ニーズを把握するとともに、利用状況を分析・評価している。	B
	②自主事業が計画どおりに実施されているか	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止したものがあつた。	D
	③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか	地域自治会へ参加を呼びかけるとともに、大学等で催しが開催される場合には、講師派遣などを行っている。	B
	④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか	ごみの持ち帰りを表示で呼びかけるとともに、出されたごみの分別処理を徹底している。	C
	⑤その他管理運営上の特記事項（コロナ対策がなされているか等）	入口に自動体温測定カメラや消毒液を設置したり備品の消毒を行うとともに、利用申込時に利用人数や目的を聞き取り、感染防止への協力依頼を行った。また、コロナ感染者の発生に備えてマニュアルを策定し、とちぎ男女共同参画センターと協力し、入居団体にも周知徹底した。	C
総合的な評価			
<p>平成8(1996)年の開館以来、パーティという愛称で県民に広く親しまれ、利用される施設になっている。開館30周年に向けて、男女共同参画の拠点施設として、適切な施設管理及び効果的な事業の展開を進めてもらいたい。</p> <p>施設の経年劣化に伴い、令和3(2021)年度からホール天井工事が始まるところであり、その他の各種設備についても計画的な改修工事を行っていく必要があるため、保守点検業者との連携と適切な情報収集に努めてもらいたい。</p>			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して極めて優れた取組となっている。
- B：事業計画に対して優れた取組となっている。
- C：事業計画どおりの取組となっている。
- D：事業計画に対して劣る取組となっている。
- E：事業計画に対して極めて劣る取組となっている。